

下関市の魅力

下関市は、本州最西端に位置する人口約25万の都市です。

①豊かな自然⇒三方が海に開かれている。



関門海峡



角島大橋

②温暖な気候⇒1年を通して比較的温暖で過ごしやすく、気候に恵まれている。

③住みやすさ⇒新幹線、在来線、高速道路など交通の利便性が良い。

新下関⇄博多駅間が、新幹線で28分！

下関駅⇄小倉駅間が、在来線で13分！

④食：海の幸⇒ふぐ、ウニ、クジラ、イカ、アンコウなど
山の幸⇒しし鍋、梨など



ふぐ刺し



うにめし



特牛（こっとい）イカ



菊川そうめん



なし



瓦そば

⑤歴史のまち⇒幕末・維新の歴史が多く刻まれ、古くから海峡のまちとして栄えた下関。明治維新発祥の地でもあります。



高杉晋作回天義挙像



赤間神宮

地域おこし協力隊員募集にあたって

魅力いっぱいの下関市ですが、現在、本市は全国平均を上回る速さで人口減少、高齢化が進んでおり、厳しい状況にあります。

一方で、本市では未利用の空き家・空き店舗を活用した「リノベーションまちづくり」が加速しており、民間と行政が連携しながら、地域の魅力を再発見・再構築する取り組みが進められています。特に下関駅近くのエリアでは、空きビルを活用したシェアオフィスの開業や空き家を活用したゲストハウスが開業される等、新たな人の流れと賑わいが生まれつつあります。こうした動きは、まちに新しい価値をもたらし、将来的な定住促進や地域経済の活性化にもつながることが期待されています。

今回は「リノベーションまちづくりを推進する」というミッションを設定した募集です。地域おこし協力隊がミッションに取り組みながら、将来本市で起業や就業していただくことを期待しております。

選考後、着任となった際には、概ね6カ月間のお試し期間中に、当該地区での生活を体感する中で、事業計画書を作成し、実現に向けてその後の活動を進めていただくという、隊員自身の「自己実現」及びその後の定住・定着につなげていくものです。

行政では考えつかないような幅広い提案をお待ちしております。

<下関市の地図>



※本市では菊川地区で隊員1名、豊田地区で隊員1名、豊浦地区で3名、豊北地区で隊員1名、デジタル版で隊員2名の合計8名が活動中です。(令和7年6月現在)

※リノベーションまちづくり版地域おこし協力隊員については、市内全域が活動場所です。